

# JOYAMA NEWS

University of Teacher Education Fukuoka  
Campus Magazine

vol.

# 54

2023 Summer

Joyama 通信  
福岡教育大学広報誌

教職大学院棟

特集1

教職大学院とは

特集2

現役大学院生のリアル座談会

特集3

新カリキュラムのここがi-na!



国立大学法人

福岡教育大学

# 坂井専攻長よりメッセージ

近年、教育現場では、教師に対して、様々な問題に対応すべく高度な専門性が求められています。そのため、本大学院では、学部時代に習得した教職に関する基礎的な力に加え、教科等に関する高度な実践力や学校や地域におけるリーダーとしての資質能力を育成しています。そのための教職大学院での「学び」の特色として以下の2点を挙げます。

1点目は、「現職院生と学卒院生の協働的な学び」です。教職大学院のカリキュラムでは、現場で経験を積んでいる現職院生と学卒院生が、様々な教育課題や多様化する学習者への対応などを議論する「共通科目」が設定されています。

2点目は、「理論と実践を往還した学び」です。2年間を通して、自己の研究テーマ（学卒）、所属校や自治体のミッション（現職）について、学校現場での実践を踏まえながら、自身の研究（課題演習）に取り組む機会が設けられています。

このように、教職大学院では、アクティブ・ラーニングを重視した授業研究や自身のキャリアアップに関わる校内研修への取り組み方、教科教育と教科専門を融合した高度な実践的指導力、近年の教育課題に対応する包括的な教育技術など、まさに「学び続ける教師」のスキルを身に付けることができます。

教職実践専攻長  
坂井 清隆



## CONTENTS vol. 54

- 02 特集  
教職員大学院とは  
現役大学院生のリアル座談会
- 07 キャリア支援センターの方々にインタビュー
- 08 特集  
新カリキュラムのここがi-na!
- 10 突撃取材!福教大生の1日の過ごし方
- 12 福教大生が選ぶおすすめスポット
- 13 サークル紹介
- 14 福教大NEWS
- 16 教員紹介&学生から見た先生の魅力
- 17 第31回 福教大卒OB&OG紹介  
桂川町立桂川小学校 教諭  
深水 遥さん
- 18 TOPICS  
アンケートに答えて  
福教大オリジナルグッズをGET!  
i-na! 発足1周年!  
福岡教育大学基金のご案内
- 19 キャンパスからの便り

教職大学院についてもっと  
知りたい方はコチラ



教職大学院  
ホームページ



教職大学院  
パンフレット



説明会のご案内



入学試験詳細

# 教職大学院とは



教職大学院とは、すでに教員免許（主として一種免許状）を取得した者が進学し、さらなる専門性の向上を図る専門職学位課程です。修了時には教職修士の学位が授与され、専修免許状を取得することができます。学部新卒者と現職の教員が共に学ぶことや、多くの実習により、ネットワークを構築することができる特徴もあります。

## 学部新卒者向けのメリット

### ①採用試験合格者の採用猶予制度

教員採用試験後に進学する方は、多くの教育委員会（例えば、福岡県、福岡市、北九州市など）で実施されている採用猶予制度（採用候補者名簿搭載期間の延長）を活用できます。通常、教員採用試験に合格した場合、次年度の教員候補者名簿に登載され、採用されることとなりますが、教職大学院に進学する場合、申請を行うことにより、2年間採用が猶予されます。合格後に、安心してじっくり学ぶことが可能です。

### ②教員採用試験の特別選考

公立学校の教員採用試験では、多くの場合、一次試験、二次試験が行われます。それぞれ、筆記試験、面接、集団討論、実技試験、適性検査、模擬授業などが行われます。教職大学院に在学している場合、試験の一部が免除される教育委員会が多くあります（例えば、福岡県、福岡市令和4年度実施分等）。

### ③初任者研修の一部免除

初任者研修とは、各自治体に教諭として正規採用された後に行われる研修で、校内研修、校外研修があります。教職大学院を修了後に初任者になった場合、福岡県と北九州市では、その一部が免除されます。

## ■学部から進学するメリット



教員採用試験に合格したまま  
教職大学院に進学できる



現職の先生も学びに来る環境で  
2年間みっちり理論と実践を学べる



教職大学院を修了後に  
自信を持って教育現場へ



もし教員採用試験に  
不合格でも



多くの実習で実践も積みつつ  
更に実力をつけて



2年間の在籍中に  
合格すればOK



1次試験

自治体によっては試験が  
一部免除される特別選考も！？

2次試験

免除

筆記

## 進学時に利用できる制度

### (1)学部新卒者

①本学では、本学学部新卒者が本学教職大学院を学内推薦にて受験する場合、入学検定料を全額免除し、合格者は入学料の半額を免除します

②教員採用試験合格後、各教育委員会の採用猶予制度を活用して進学する場合、大学院入学料を全額免除します

### (2)現職教員

①教育委員会の長期派遣研修制度を2年間利用できます

②教育委員会から派遣され進学する場合、入学料を全額免除されます

### (参考)

検定料30,000円、入学料282,000円

(令和5年度の場合)



特集 教職大学院 院生座談会 現役大学院生のリアル座談会

# 学部卒生×現職教員 私たちの教職大学院ライフ!

教職大学院では実際どんな学びがあるのでしょうか。現在、大学院に在籍中の現役院生の皆さんに入学のきっかけや学びの環境、自身の変化について伺いました。学部卒生と現職教員、共に学ぶ院生同士の交流が想像以上に盛んで、和気あいあいとした雰囲気の中で繰り広げられた本音トークをお届けします!

**福教大OBの田中さんと新保さんは学部卒業後、ストレートで教職大学院へ進学しました。進学を選んだきっかけから伺えますか?**



**田中さん** 正直に言うと「まだ現場に出たくない」と思ったのがいちばんの理由でした。今の自分が教壇に立って授業をして、学級経営、生徒指導まで一人前にできるかと考えたら不安なことが多くて。だから4年次の6月頃、教員採用試験を受ける前から「採用試験に合格しても大学院で勉強をあと2年頑張ろう」と決めていました。

**新保さん** 僕は学部時代に教員採用試験に通らなくて、田中さんに比べると遅い決断でした。講師として教員経験を積みながら採用試験合格を目指す道もありましたが、忙しく働きながら勉強を両立できるかという不安と、専攻である音楽をもっと学びたい思いもありました。進学すれば社会に出るまで2年の時間ができて、将来的に役立つ学びも大きいんじゃないかと。4年次の11月頃の後期募集で進学に踏み切りました。



**学部時代の同級生が就職していく中で学生を続けることに不安はありませんでしたか?**

**田中さん** 入学当初は内心、焦る気持ちがありました。でも少し経つと、就職した友人たちが「現場で分からないことが多い。でも質問しづらい…」 「大学でもっと勉強しておけばよかった…」 という話を聞かせてくれて。私が勉強していることは現場に出て役に立つことなんだ、自分の選んだ道を今は精いっぱい頑張ろうと気持ちを切り替えました。

**新人教員ならではの葛藤ですよね。他方、塩足先生は小学校、横山先生は高校の現職教員でキャリアも10年以上です。現役の先生方が大学院での学びを決断したきっかけは何だったのでしょうか?**

**塩足先生** キャリアを重ねるにつれて学年主任や研修をけん引する立場になることが多くなりました。でも組織をどんなふうに動かせばいいかわからず、実際にうまくいかなくて先生方にご迷惑をかけることも出てきてしまって。この先、リーダーの役割が求められる中で何が必要なのかを学びたいと思いました。

**横山先生** 私は学習指導要領の改訂がきっかけでした。三観点による新しい観点別評価が高校でも実施されることになったのですが、答えられない部分があることに気がついたんです。塩足先生と同じくキャリアとしてはミドルリーダーなのにこれではいけない、理論から学び直したいと思い入学を決めました。

**現職の先生方は研修や勉強会で常に学び続けている印象があります。そうした場と教職大学院での学びは違うものなのでしょうか?**

**塩足先生** 全く違うといえば語弊がありますが、大学院は2年間のプログラムを通して体系的に学べるのが特長だと感じます。例えば「学校評価」は現場ですっとなってきたものですが、そもその目的や何に活かされるものか深く理解していませんでした。そういう曖昧だった部分が「そういうことか!」と腑に落ちて理論と実践が繋がる、今までの点と点が繋がる発見が大学院での学びの中にいくつもあります。



**横山先生** 学びのプロセスも面白いんです。手取り足取りでも一方通行でもなく教授の先生方は適度なヒントを与えてくださり、そこから



◆  
教育実践力開発コース  
教職教育高度実践力  
プログラム2年

にいぼ かずのり  
**新保 和典**

福岡教育大学(中等教育/音楽)卒業後、教職大学院へ進学。大学院1年次に教員採用試験に合格。

◆  
教育実践力開発コース  
教職教育高度実践力  
プログラム2年

たなか あやか  
**田中 亜耶佳**

福岡教育大学(中等教育/音楽)卒業。大学4年次に教員採用試験に合格後、特例制度(採用候補者名簿登載期間の延長・採用の延期)を活用して教職大学院へ進学。

◆  
スクールリーダーシップ開発コース/  
教科教育リーダープログラム2年

よこやま ふえみ  
**横山 笛美**

公立高校の現職教員。北九州市立大学卒業後、高校教員へ。現職12年目に長期研修プログラムを活用して同プログラムに進学。

◆  
スクールリーダーシップ開発コース/  
学校運営リーダープログラム2年

しおたり かずよ  
**塩足 和代**

公立小学校の現職教員。中村学園大学卒業後、教員免許を取得。講師経験を経た後に正規教員へ。現職12年目。

自分で悩んで考えて試行錯誤していくような学び方で。それから新人(学部卒業後ストレートで進学した院生)と現職(現職教員の院生)と一緒に学ぶ環境もすごく面白くて、良い刺激をたくさんもらっています。

### 新人院生と現職院生が同じ教室で講義を受けることもあるんですか？

**横山先生** はい、たくさんあります。特に1年次は一緒に学ぶ機会が多かったですね。新人の皆さんはまず目がキラキラしていて私もこのキラキラした気持ちを忘れずにやらない!としたり、彼らは本当に優秀で教えてもらうことも実際すごく多いです。



**塩足先生** 視野が広がりますよね。新人の皆さんもそうですし、小中高いろんな校種の先生方がいらっしゃるので「小学校を卒業した子どもたちは中学・高校でそんな学びをしていくのか」と興味深くて。偏りがちだった人間関係が広がる出会いも大きな財産だと感じます。

**新保さん** 僕ら新人にとっても有難い環境です。共用の院生室があるんですが、横山先生はいつも院生室にいてくださるので講義以外の時間でも「ちょっといいですか?」と話しかけやすくて。

**横山先生** 皆に「院生室に住んでいるんじゃないの?」とからかわれるくらい私は院生室に居るんですよ(笑)。

### 新人の皆さんからどんな相談ごとが持ち寄られるんですか？

**横山先生** 例えば今日もつい先ほど「プリントを作ったのですがアドバイスをいただけませんか?」と話しかけてもらったので、「文字の大きさはもう少し小さくてもいいね」「挿絵を入れてみたら」「何日の何限目の何の科目で使うかを記載すると子どもたちが整理しやすいよ」

と、ちょっとしたポイントを提案しました。皆さん、本当に熱心なんです。指導案を作る課題があれば授業が終了した後でも「自分なりにもう一度練り直したので見てくれませんか?」と持ってきてくれたり。

そもそもコミュニケーション能力が高いんです。院生の部屋割りや席替えも新人の皆さんが率先して動いてくれて、最近ではスポーツ大会を企画してくれました。年齢が離れた私たちも巻き込んでくれるのが嬉しいですし、新人同士も皆すごく仲が良いですよ?

**田中さん** そうですね。私は学部時代、中等教育の音楽専攻だったので他の教科や初等教育の人と関わる機会が少なかったんです。大学院はいろんな教科の院生がいて、小中高の現職の先生方もいらっしやって、全員に教育という共通項があるから話もしやすい。これから教員になっていくうえでも素敵な仲間ができたことはとても心強いです。

### 大学院の学びは自分にどんな変化や影響を与えたと思いますか？

**田中さん** 自分の専攻する音楽が「なぜ学校教育に組み込まれているか」の答えを見つけれられたことが大きいです。大学院でゼミの先生から最初にこの質問を受けたとき私は何も答えられませんでした。それまで教科に音楽がある理由なんて考えたこともありませんでした。学びの中で見えてきたのは「音楽は答えがひとつではない」こと。一人ひとりの感性が活かして音楽を介した共感や共鳴によって自分の個性や良さを見つけることもできる、そんな教科なのかと今は思っています。正解かどうかは分かりませんが、自分の中に一つの軸ができたことで音楽の教員をしていく自信につながりました。

**新保さん** 「軸ができた」という感覚はすごく分かります。僕も学びを通して自分の内側にあるものを引っ張り出すことができたことが大きな変化です。なぜ教員を目指すのか、どんな子どもたちを育

てたいか、そのために自分は何をするのか。自分の中から引き出した揺るぎない軸が教育者としての自分を支えるものになると感じています。

## 今お二人はどんな先生になりたいと考えていますか？

**新保さん** 学部時代に比べて大学院では「なぜ？」を考える機会がたくさんあり、自分で考えること自分の意見を持つことの大切さを痛感しました。自分の足で立ち、自分を律していける先生になりたい。その自立と自律を子どもたちにも育ていける教育者になりたいです。

**田中さん** 私は人間味のある先生になりたいです。学部生の頃は「教師は常に生徒の上に立って導いていく立場」という漠然としたイメージを持っていましたが、大学院での学びや出会いの中で考えが変わりました。できないことは「できない」、分からないことは「分からない」と言える、そして周りに教えるを請う。そんな姿を生徒に見せながら一緒に学び、自身も成長し続ける先生になりたいと今は思っています。

## 先生方は大学院での学びをどう活かしたいと考えていますか？

**塩塚先生** 若い先生方とベテランの先生方の中間にいるのが今の自分だと思います。若い先生方をサポートするような関わりを持ち、

また、そうした若手の情熱をベテランや管理職の先生方に上手に伝えられる架け橋のような教員になりたいと強く思います。実習では在籍校をはじめ近隣の小学校にも大変お世話になりました。多くの出会いを通して「こんな指導や授業ができる先生になりたい」「こういう関わりのできる先生になりたい」と抱いたフレッシュな想いも含め、そうした学びの全てをしっかりと還元できるよう日々頑張っていきたいと思っています。

**横山先生** 今、現場から少し距離を取ることで日本の教育を俯瞰して見るができているように思います。先生方は座る暇もないほど忙しい中でも子どもたちとの関わりを大切に、教育に向き合っている。「日本の教育は100年遅れている」「ヨーロッパに学べ」といった意見も耳にしますが、私は日本の教育は捨てたものではない、優れているところも多いと考えています。そして、本気で学校の先生になろうとしている若者がまだまだたくさんいることも大切にしてほしいと思います。大学院で出会った新人の皆さんは熱心に学びながらも真面目一辺倒ではなく、元気でユニークで、コミュニケーション力があって優しい配慮もできる。人間としてのバランスがすごく良いです。そんな若者たちが真剣に教員を目指して、これから教育界に出てくることはすごく楽しみなことだと思っています。

——皆さん本日はありがとうございました！

## 修了生の声



院生の時に教育実践論文を書くことができたのはいい経験でした。働き始めると、日々の業務に追われ、仕事と並行して研究を続けていくのはなかなか難しいと思います。教職大学院では、先生方からご指導いただきながら、時間をかけて実習(TA実践インターンシップ実習や附属学校における実習など)を活用して理論と実践を往還することができました。その経験を日々の授業づくりに活かすことができます。今振り返ると本当に貴重な時間だったと思います。また、生徒指導や学級経営、特別支援などに関連する様々な講義を通して、幅広く学びを深めることができ、それが今の自分の教師としての考え方の基盤となっています。

### 福岡市立小学校教諭

まえだ ゆう さく

## 前田 裕作さん

福岡教育大学福岡教育大学生涯スポーツ芸術課程音楽コース卒業  
大学院教職実践専攻(教職大学院)教育実践力開発コース 修了

私にとっては、「どんな生徒を育てたいのか」「自分の強みは何で、どのように生徒と関わりあっていきたいのか」という自身の考えをみつめる2年間だったと思います。

講義の中で、現職の先生方とも、協働的に学び合い、学校現場の現実を知りながら、自分の理想と照らし合わせ色々な考えを構築することができました。また、年間を通して学校現場で学ぶ(TA実践インターンシップ実習)ことができ、学校という環境に慣れている状態で教職をスタートできたことはとてもよかったと思います。

現在、教職について4年目になります。生徒と向き合う中で迷う時もありますが、ブレない軸を大切にしています。その軸は大学院で先生方や院生と関わる中で培ってきたものです。大学院での学びや、生徒、先生方との出会いを大切に、まだまだ学び続けていきたいと思っています。

### 長崎県対馬市立中学校音楽科教諭

あらき ちひろ

## 荒木 千尋さん

福岡教育大学中等教育教員養成課程音楽専攻卒業  
大学院教職実践専攻(教職大学院)教育実践力開発コース修了



# キャリア支援センター の方々にインタビュー



キャリア支援センターは学生会館の2階にあり、服部一啓センター長をはじめとして、教員採用試験についてのサポートを行う5名の就職支援アドバイザーと公務員採用試験や一般企業への就職のサポートを行う1名の就職支援コーディネーター、4名の事務職員が学生の就職支援を行っています。

今回は、就職支援アドバイザーの白木さん、就職支援コーディネーターの渡邊さん、学生支援課キャリア支援室の秦さんから学生に伝えたいことを伺いました。

## 福岡教育大学のキャリア支援の主な特色

### 01 各自治体の教員採用試験に対応した アドバイザーが在籍！

公立学校での校長経験のある5名のアドバイザーが在籍し、全国の自治体を分担しています。福岡県内だけでなく、九州各県を中心に各自治体の教員採用試験に対応した情報を提供できるのは本学ならではの魅力の一つです。

### 02 就職支援専門のコーディネーターが在籍！

教員だけでなく、公務員や一般企業への就職支援も行っています。「教員になるか迷っている」等の就職に関する悩みが相談できるコーディネーターがいます。

### 03 無料で開講される教員採用試験対策の 特別講座も！

2年次から4年次の教員採用試験が終わるまで、「教員採用試験のための特別講座」を開講しています。筆記試験、面接、集団討論、模擬授業対策に至るまで丁寧に指導します。特別講座を受講した回数が多い人ほど、教員採用試験の現役合格率が高いというデータも。教員になりたい人は積極的に受講しましょう！



採用試験対策はもちろんのこと、りっぱな教員になれるよう、スタッフ一丸となって全力でサポートします。

就職支援アドバイザー  
しらき てるひさ  
白木照久さん



公務員や一般企業への就職など、教員以外の進路もあるので、進路に迷ったらぜひ相談に来てください。

就職支援コーディネーター  
わたなべ まゆみ  
渡邊 真由美さん



大学生活では、主体的に自らの進路を考え、行動していくことが大切です。キャリア支援センターを使い倒しましょう。

学生支援課キャリア支援室  
はた のりゆき  
秦 矩之 さん



## インタビューの感想

「『本当に教員になれるのだろうか』といった漠然とした不安や悩みでもいいから、学年問わず気軽に相談に来てほしい。」とおっしゃっていたのが印象に残りました。

取材を通して、皆さんの卒業後の進路のサポートのために尽力されている大学の職員や先生の様子をみることができました。

# 新カリキュラム **i-na!** のここが

—新時代の1年生、どう学んでる??—

福岡教育大学では令和5年度入学生から、「令和の日本型学校教育」に対応できる教員を養成するべく、教育学部の改革が行われました。

さて、この改革によって大きく変わったのが初等教育教員養成課程です。夏号では、初等教育教員養成課程に新設された5つのプログラムの新入生たちを中心に、各課程のリアルな学びの様子を取材してきました!



## 初等教育教員養成課程



### 小学校教育専攻プログラム

小学校の先生を本気で目指す志高い仲間と共に、全教科の指導法から初等教育というものについてまで深く学ぶことができます!プロの小学校教員を目指しませんか!?



### 人文・社会教育プログラム

国語、英語、社会の3つの分野から自分の好きな分野を選択することで、より専門性を持った教員を目指すことができます。



### 理数教育プログラム

理科や数学が好きな人におススメで、将来、理数に強い教員を目指している人は是非!



### 芸術・実技教育プログラム 体育

体育教師を目指して勉強はもちろん、各々が専門としている種目やその他の種目のスキルアップを目指して取り組んでいます。バレーや水泳などの競技では、各グループで各競技の目標の達成に向けて頑張っています。



### 芸術・実技教育プログラム 技術

自分の得意な科目を活かして中等教育の教員免許もとれる学科です。まだ将来どの教科で先生になるのか決まっていない人にはおすすめです!迷ったら技術科!

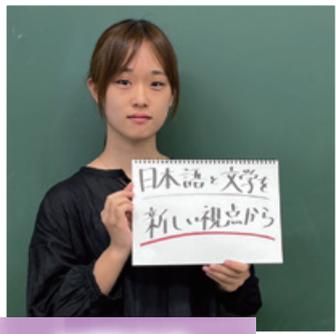


### 幼児教育プログラム

幼稚園でやるような遊びや工作を実際に授業内でやることで、幼児の気持ちに寄り添った実践的な教育を学ぶことができます。また、小学校教諭の免許もとれるため進路選択の幅が広がります。幼教は人数が少ないのでアットホームなクラスの雰囲気があります!



## 中等教育教員養成課程



### 国語専攻

国語専攻では、日常的に使用している日本語が辿ってきた歴史や、自分では読まなかったような多種多様な文学に触れることで、国語に対する考えをより深めることができます。



### 数学専攻

数学教育に関する授業だけでなく、論理をベースとした大学数学を深く学び自身の数学力を磨く授業があり、同じ数学の教員を目指す仲間と囲まれて学ぶことができます。



### 音楽専攻

学校教育に関する授業からピアノ・声楽・管弦楽などの音楽に関する授業など幅広く学んでいます。現在、1学年15人以上の仲間がいて、同じ目標に向かって切磋琢磨したり、お互いに助けあえたりする所が魅力です!

## 特別支援教育教員養成課程



### 初等教育プログラム

特別支援学校教員免許の中でも5領域の免許を取得することが可能ですが、一年次で様々な障がいについて学び二年生からは領域選択があるので、障がいについての広い知識と深い知識の両方を付けることができます!



### 中等教育プログラム

特別支援教育中等教育プログラムでは、特別支援学校教員免許を取得できるだけでなく、自分が選んだ教科の免許も合わせて取得することができるのが最大の魅力です!

## 教職大学院



学部では学びきれなかった「学校・学級経営」や「生徒指導」などのより専門的、実践的な能力を身につけることができます。現職派遣の先生もいる為、学校現場のよりリアルな話を聞けたり、修了後でも生きてくるネットワークを構築する事ができます!

## 感想

カリキュラム改革後初となる入学生。実際に学んでみたことで感じるメリットを教えてくださいました。この取材を通じて、それぞれの学生が「将来なりたい姿」に向かって具体的に学んでいることがわかりました。福教大の新時代を担う一年生の、やる気に満ちた表情が印象的です。

これからも、どんどん新しくなっていく福岡教育大学に目が離せません!

突撃取材!

# 福教大生の1日の過ごし方



教員を目指す福岡教育大学の学生たちがどんな1日を過ごしているのか、学生広報チームi-na!が突撃取材してきました!

今回は、初等教育教員養成課程、中等教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程のそれぞれの課程で学んでいる2年生3人にお話を伺いました。福教大生の1日をのぞいてみましょう!

## 初等教育教員養成課程 2年

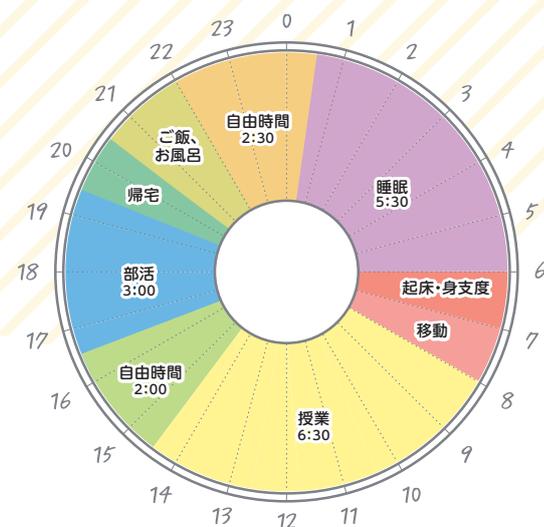
しん ばやし み さき

## 進林美咲さん



### 1日のスケジュール

6:00 ~ 7:00	起床・身支度
7:00 ~ 8:00	移動
8:00 ~ 14:30	授業
14:30 ~ 16:30	自由時間
16:30 ~ 19:30	部活
19:30 ~ 20:30	帰宅
20:30 ~ 22:00	ご飯、お風呂
22:00 ~ 0:30	自由時間
0:30 ~ 6:00	睡眠



### スケジュールコメント

部活がオフの時は、バイトしたり、課題を終わらせたりしています。大学生になって、自由時間が増えた分、生活習慣を崩さないように意識してます!

### 学生生活で力を入れていること

私は、大学からラクロスを始めました!ラクロス部には、個性豊かな人が沢山いるので、毎日楽しく過ごしています!大学からでも沢山青春できます!!ラクロスに加えて、国際交流にも力を入れています。1年生の時から、英語習得院(現GLC)の英会話講座を受講し、実践的な英語を学びました。それから、1年生の春休みにウイスコンシン大学ラクロス校(アメリカ)の短期研修プログラムに参加しました。このプログラムでは、ホームステイや、大学の授業の他に、地元の保育園、小学校、中学・高等学校に訪問して日本の文化を伝えるボランティアを行いました。学校訪問を通して、海外の教育現場を体験したり、大学の授業で模擬授業を作って実践したりと教育大学ならではの貴重な体験ができました!また、大学の近くには、シナモンカフェがあります!かき氷とパスタがすごく美味しいので、ぜひいってみてください。



中等教育教員養成課程  
数学専攻2年

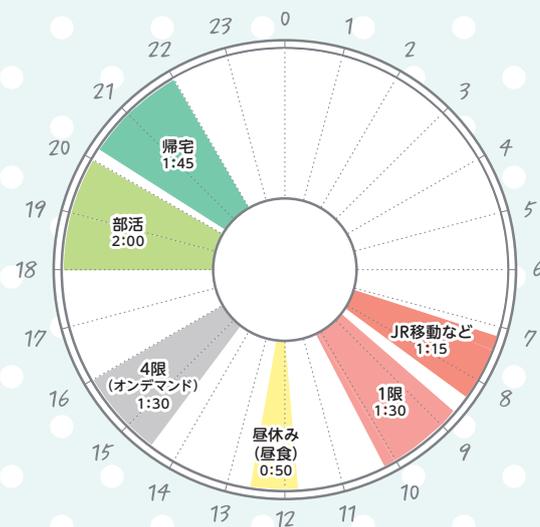
おお くま なお と

# 大熊直斗さん



## 1日のスケジュール

- 7:10~ 8:25 JR移動など
- 8:40~10:10 1限
- 11:55~12:45 昼休み(昼食)
- 14:30~16:00 4限(オンデマンド)
- 18:00~20:00 部活
- 20:15~22:00 帰宅



### スケジュールコメント

実家から通っているので通学に時間がかかりますが、ご飯は親が作ってくれたりなどいいこともたくさんあります。また、部活がない時はアルバイトをしたり整骨院に行ったりしています。

### 学生生活で力を入れていること

学生生活で力を入れていることは部活動です。いま私はサッカー部に所属しています。九州大学サッカーリーグにも所属しており、1年を通して九州各地で試合を行っています。チームの仲間と意見を出し合ったり個人の課題に向き合いその課題を克服するために練習をしたりしています。意識の高い仲間と過ごしていて、日々自分自身も勉強になっていて成長できているなと感じています。



特別支援教育教員養成課程  
初等教育部2年

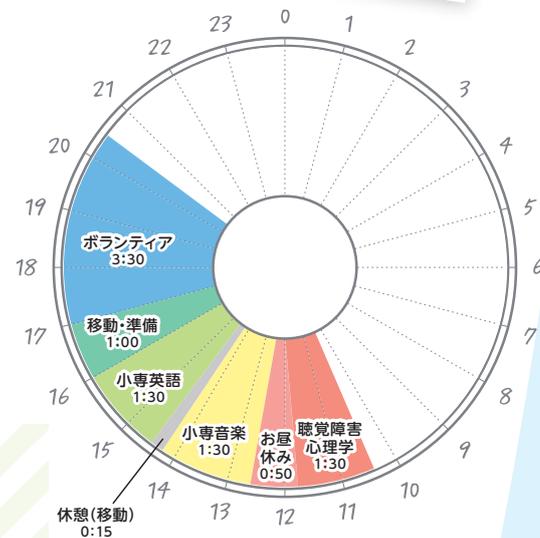
いし ばし あや な

# 石橋綾奈さん



## 1日のスケジュール

- 10:25 ~ 11:55 聴覚障害児心理学
- 11:55 ~ 12:45 お昼休み
- 12:45 ~ 14:15 小専音楽
- 14:30 ~ 16:00 小専英語
- 17:00 ~ 20:30 ボランティア



### スケジュールコメント

私は、赤間駅の近くの福祉施設でボランティアをしています。施設に来る子どもたちと一緒にカードゲームで活動したり、勉強を教えたりと楽しい時間を過ごしています！

### 学生生活で力を入れていること

私は、ゆかいくらぶに所属しています。ゆかいくらぶでは、月に1回子どもたちと一緒に様々な活動をしています！その活動の内容も学生だけで考えています！企画の内容を考えて準備するのは大変ですが、とてもやりがいのある活動です！活動に来てくれる子どもたちが元気いっぱい笑顔で活動してくれるので、とても楽しいです！



福教大生が選ぶおすすめスポット

大学内や大学周辺での  
おすすめスポットを紹介します！



**釣川**  
福教大周辺のお散歩コースです。春になったら桜がきれいです！



**図書館**  
晴れの日には図書館前のベンチに座ってゆっくりするのもいいですね。暑くなったら図書館に入って課題を終わらせるのもあります！



**福教大の夕日**  
この空は5限の後に撮った空です。授業終わりの疲れた後に夕日の空を見ると、頑張ったと思うので、5限の後は空を見て癒されること、おすすめです！



**W 鶏からあげ**

福教大近くのから揚げ専門店です。から揚げ1つ1つが大きく、食べ応え満点でした！  
お店の情報は横のQRコードからチェック！



WDORI\_KARAAGE



Good

**赤間宿通り**

6月はあじさい祭りで、通りがあじさいで華やかになっていました。  
歩きながら赤間の歴史をみて、ゆっくりお散歩すること、とてもおすすめです！



**shinamon café**

くまちゃんパフェを食べに取材に行ったときの写真です！  
お食事からスイーツ、ドリンクまでバリエーション豊かなメニューが揃っています。  
お店の情報は横のQRコードをチェック！



SHINAMONCAFE



**おうち時間も充実**

家でゆっくりする時間が好きです。お菓子作りなど自分の好きなことをやっています！  
お菓子作りのレシピ紹介を i-na! インスタグラムアカウントに載せています！  
横のQRコードからぜひご覧ください！



@UTEFI\_1\_NA

# こぼとの会

私たち「こぼとの会」は、福岡教育大学唯一の障害児ボランティアサークルとして活動しており、年間を通してダウン症の子ども達との経験をを通して、共に成長していくことを目標としています。近年インクルーシブ社会や合理的配慮という言葉が社会において耳にすることが多くなっていく中、私たちはボランティアを通して社会に関わっていかうとしています。

本ボランティアサークルでは、様々な様子や特徴を持つダウン症の子ども達のボランティアを、日本ダウン症協会福岡支部様と共にを行っています。活動内容としては、託児ボランティア、初夏のハイキング、夏の大キャン



特別支援教育教員養成課程初等教育部知的障害児教育3年

まつ お かず き  
松尾 一樹

プ、クリスマス会、お楽しみ会といった様々な活動を行っています。昨年のキャンプではドラえもんをテーマにして1泊2日の研修を行いました。また、クリスマス会では制作やプレゼント交換などを行いました。

もちろんダウン症の子ども達のみではなく、福岡教育大学唯一の障害児を対象としたボランティアサークルとして、他の障害種のボランティアについて積極的に参加していきたいと思えます。

少しでも興味のある方、ボランティアを依頼したい方、ぜひご連絡をお待ちしています。



## サークル紹介

# C I R C L E I N F O R M A T I O N



## 男子バレーボール部

私たち「男子バレーボール部」はプレーヤー12名、マネージャー5名の計17名で活動しています。春季、秋季に開催される九州リーグや福岡県リーグ、九州インカレに向けて日々練習に励んでいます。

日頃の練習は、個人の技術やチーム力、心身の強さを向上させるため、様々な練習メニューをチーム全員で考え、意見を出し合いながら取り組んでいます。大会や練習以外でも、遠征やレクリエーション活動を通して、メンバー同士の距離を縮め、交流を楽しんでいます。そんな福教大男子バレー部の魅力は「信頼関係」であり、選手が少ないからこそ、お互いがお互いをよく理解し、部活動、大学生活を始め、日頃から非常に仲の良いチームです。



中等教育教員養成課程保健体育専攻3年

しちだ こうたろう  
七田 孝太郎

選手及びマネージャーの入部を心よりお待ちしております。新型コロナウイルスが5類へ移行し、大会や遠征などの機会がこれからさらに増えていきます。私たち福教大男子バレー部のメンバーと共に一生心に残る良い経験や思い出をつくりましょう！

Instagram、Twitter等、SNSでも活動しておりますので、興味のある方はぜひご連絡下さい！



## 1 令和5年度宗像地区教育実習 合同オリエンテーションを開催

令和5年5月9日（火）に「宗像地区教育実習合同オリエンテーション」をアカデミックホールにて開催しました。本オリエンテーションは、宗像市・福津市教育委員会および本学が共催で実施しているものであり、教職を目指す実習生に授業づくりの基本や教育実習における心得を指導することとおして、教育実習に対する意欲やイメージを持たせることを目的としています。今年度は、宗像市、福津市の小中学校で教育実習に参加する学生や社会人（公立小実習生、協力校実習生、他大学実習生）に加え、近隣自治体で公立小実習に参加する本学実習生 35 名を含めた計 76 名の教育実習生が参加しました。



オリエンテーションの様子

## 2 グローバルラーニングセンターを設置

令和5年4月、「本学における国際交流に関する事業の推進」「学生の海外派遣・留学及び本学で学ぶ海外の留学生の支援」「学生及び義務教育諸学校教員の外国語コミュニケーション能力の向上」等を目的として、グローバルラーニングセンター（以下「GLC」）を設置しました。

これらの目的の実現に向けて、GLC に国際連携部門、留学支援部門、語学習得支援部門の3部門を設け、様々な事業を展開してまいります。

GLC は、事業を展開していく中で、本学の学生や教職員がグローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力を育成する役割を果たしていきます。さらに学外の関係機関や地域との連携を強化するなど、国際的な社会貢献活動を推進するとともに、本学の立地する地域全体の交流の発展に寄与することを目指しています。



左から、レオナルド副センター長、飯田学長、二宮センター長

## 3 教学共創マネジメントセンターを設置

本学の教育改革を推進し教育の質保証と向上を達成するため、本学の教学マネジメントを支える基盤となる「教学共創マネジメントセンター」を令和5年度から新設しました。

センター内には教育改革と教育の質保証を推進するための基盤となる「教学デザイン部門」「モニタリング・評価支援部門」「FD・SD部門」の3部門を設置しています。

当センターは OODA ループの組織フレームで、本学教職員及び本学学生と教育委員会や学校現場、企業等と連携しながら、短いサイクルで様々な取組を企画・実施・検証し成果を積み重ね、データに基づく本学の教育改革と教育 DX を推進し、学校現場の課題解決にもつなげることのできる教員養成プログラムを共創していきます。

また、それらの取組や可視化された教学データを踏まえ、教育方法の高度化に資する FD プログラム、事務職員の専門性向上に資する SD プログラムを逐次企画し実施していきます。



教学共創マネジメントセンター

## 九州・沖縄地区の国立大学法人における研究力向上の連携に関する覚書を締結

令和5年3月21日(火)に、「九州・沖縄地区の国立大学法人における研究力向上の連携に関する覚書」の締結式を行いました。

本覚書は、九州・沖縄地区に位置する11の国立大学法人間において、大学の研究力向上を中心とする連携協力を推進していくことを目的としています。

この締結により、「九州・沖縄オープンユニバーシティ (KOOU)」という共通のプラットフォームを形成し全大学が連携協力することで、個々の大学では対応が難しかった抜本的な研究環境の改善等を目指します。



締結式の様子

## JICA戸川理事長特別補佐と意見交換

令和5年3月8日(水)、独立行政法人国際協力機構(以下、「JICA」という)の戸川理事長特別補佐やJICA九州センター(以下、「JICA九州」という)の吉成所長等が本学へ来訪し、本学関係者と意見交換を行いました。

本学は令和3年度にJICA九州と連携に関する覚書を締結し、ESD分野における交流や本学附属学校における「多文化共生」をテーマにした研修等の活動を行っております。本会では、これまで本学がJICAやJICA九州と連携して行った取り組みや、本学における国際化の取組状況等についての説明があり、学生交流分野や開発教育分野におけるさらなる連携の可能性等について、活発な意見交換を行いました。

今後も、相互にとって実りのある連携を進めていきます。



左から吉成所長、戸川理事長特別補佐、飯田学長、木原理事

## 令和4年度福岡教育大学学生表彰式

令和5年2月15日(水)、令和4年度福岡教育大学学生表彰式を行いました。

本表彰は、研究、課外及び社会活動等において、特に顕著な成果や功績を収めた本学学生及び学生団体を表彰するもので、今年度は7名・1団体の学生が表彰の対象となりました。

本学後援会副会長及び役職員が見守る中、飯田学長から表彰状と副賞が贈呈されました。飯田学長、久保田後援会副会長から

のお祝いの言葉を受け、受賞者を代表して、少林寺拳法部 新森共朗さん(初等教育教員養成課程3年)から、「今後、自らの能力を高められるように研鑽に努め、さらなる飛躍を期したいと思いません」との抱負が述べられました。



表彰式の様子

# 教員紹介 & 学生から見た先生の魅力



音楽教育研究ユニット  
しのはら ゆり  
講師 篠原 友里

出身地: 山口県  
最終学歴: 福岡教育大学  
教育学研究科  
教育科学専攻修了  
取得学位: 修士(教育学)

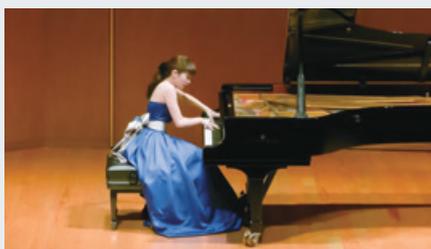


## 様々な経験を通して 心豊かに

### 専門の研究テーマ

私の専門分野は演奏学(ピアノ)です。特にロマン派～近代の作品に取り組み、演奏解釈や表現技法の研究を行っています。これらの研究を深めることによって、音色の変化や表現の繊細さが生まれ、より豊かな音楽表現が可能になります。

作曲家の意図や、作品スタイルの理解も深めながら、表現したい音楽のイメージを音にするためにはどのような打鍵が必要か、といった「表現するために必要な技術」についても、常に追求しています。



ソロリサイタルの様子

### 大学教員に進むことになった きっかけ

ピアノは人々の心を癒し、心を豊かにする力があると私は考えています。今までピアノを師事した先生方との出会いが、ピアノをもっと深く勉強したい・演奏活動を続けていきたいという思いとなり、大学院へ進学、そして今につながっています。



指導学生の学外コンサート

### 研究成果の教育への還元

私自身が小学校での音楽アウトリーチ活動や、多くの演奏家との共演を継続的に行うことで、ピアノ演奏に必要なテクニックの指導はもちろん、様々な演奏スタイルに見合った表現方法のあり方を研究成果として、私の音を通して学生に伝えていくことができると考えています。そして学生は、日頃の勉強の成果を披露する場として、学外のコンサートホールで演奏する機会をつくり、舞台経験を積んでいきます。そこで得られる演奏技術の向上とともに、音楽を表現する楽しさや喜びを経験することで、学生が教育実践の場で自信を持って、音楽と向き合える環境を作るよう努めています。



個別ピアノ指導の様子

音楽を通して地域社会や学校教育現場で活躍できる人になってほしいと願っています。

### こだわりの物・考え・モットー

音楽分野に限らず、様々な経験を重ねていくことが、自身の音楽を豊かにする源になると考えています。人との出会いや縁もそうです。

人生の一つ一つの経験に決して無駄なものはなく、全てが今に繋がっていると感じています。日々の出来事全てに、感謝の心を持ち続けていきたいです。

### 福岡教育大学で学ぶ学生に一言

「他人と比較して、他人が自分より優れているとしても、それは恥ではない。しかし、去年の自分より今年の自分が優れていないのは大いなる恥である。」

これは、イギリスの銀行家であり政治家でもあった、ジョン・ラボックの言葉です。

他人と比較して一喜一憂するのではなく、大切なのは、過去の自分との比較です。向上心を持ち、努力を惜しまず、常に成長し続けてほしいと思います。



アウトリーチの様子

## 学生から見た先生の魅力

まるこみくに

丸子美都さん(中等教育教員養成課程音楽専攻卒業生)

篠原先生は、いつも熱心かつ親身にご指導くださる、笑顔が素敵な先生です。実技指導では、私の表現したい音楽を尊重しつつ、よりよい表現方法を一緒に考えてくださいます。また、実技だけでなく学校生活や精神面についても常に気にかけてくださり、実技以外でも相談ののってもらえることがよくあります。そんな先生は、大学での指導の他に学外でも演奏活動をされており、多岐に渡って活躍している姿は学生たちにとって憧れの存在です。



丸子美都さんと



道徳授業

### 専科教員としての働き

大学で英語の教員免許も取得していたため、教員2年目から外国語専科として働くことになりました。前年度の新採時は1年生を担当していたので、初めての高学年、初めての外国語の授業の担当でした。授業づくりから、児童との関係づくり、ALTとのコミュニケーションなど手探りの日々です。しかし、自分の得意を活かして働くことができ、また担任時代に比べて、授業準備時間も十分に確保することができ、充実した教員生活を送っています。



外国語 授業風景

### 日韓交流授業

私は、在学中に福教大の協定校である釜山教育大学へ留学しました。そこで出会った釜山教育大学出身で、現在韓国で小学校の教員をしている友人と zoom を使って、オンライン交流授業を行いました。自分たちの国の有名な場所や食べ物を紹介し合ったり、お互いの国について気になることを質問し合ったりしました。初めての体験に、子どもたちはノリノリで交流に参加し、いつもはあまり手を挙げない児童も「韓国で流行ってる歌手誰ですか?!」など、気になることを質問する場面も見られました。子どもの海外やその文化への興味



日韓交流授業

を引き出す絶好の機会でした。大学での縁に感謝です。

### 大学生の今が最高のチャンス!

みなさんは、「大学生の今だからこそできること」にチャレンジしていますか?私は大学時代、交換留学のほか、アメリカでの短期研修に参加したり、国際交流サークルに所属したりして、ずっと興味があった国際交流にたくさんチャレンジしました。「留学に行ったら卒業が遅れる…」「お金かかるな…」「英語できないし…」色んな悩みや不安がありますよね。私も色々不安でした。だけど、一歩踏み出しただけで、価値観、視野、交友関係が一気に広がります。あっという間の4年間です。留学、旅行、サークル、アルバイト、ボランティアなど、やりたいことにたくさんチャレンジしてください!その行動と経験は必ず未来の自分への助けになります!



校内研修 外国語授業 机間指導

桂川町立桂川小学校

ふかみず はるか  
教諭 深水 遥 さん

・初等教育教員養成課程  
令和3年3月卒業



# アンケートに答えて福教大オリジナルグッズをGET!

今後のよりよい誌面作りのため、皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名様に『福岡教育大学オリジナルグッズ3点セット』をプレゼントします。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

こちらのフォームからご応募ください。



応募締切

令和5年9月30日(土)



抽選で5名様に

福岡教育大学オリジナル  
サインペン&ボールペン&メモ帳

<アンケートにおける個人情報の取扱について>  
ご提供いただいた個人情報は、プレゼントの発送以外には使用致しません。

## i-na!発足1周年!

学生広報チームi-na!です。

i-na!発足から1年経ちましたが、私たちの活動を応援してくださる声を聞く機会も増え、メンバー全員とても嬉しく思っています!

今回は、多くの教職員や学生の方々に協力していただき、新しいカリキュラムに変わった課程の紹介や、福教大生の生活、大学のオススメスポットなどを紹介しました。

これからも、皆さんの役に立つ情報の発信を目指して頑張っていきますので、Instagramのフォローや広報誌のチェックをよろしくお願いします!



i-na! Vlog



i-na! Instagram



## 福岡教育大学基金のご案内

福岡教育大学では、教育研究の更なる発展や充実を図ることを目的として、「福岡教育大学基金」を設けております。

特に「修学支援事業基金」では、経済的理由により修学に困難がある学生が、希望する教育を受けられるように、皆様からいただいたご寄附を、学生のために特化して活用します。

寄附をされる際に、「修学支援事業基金」と事業を特定してください。

広く教育界、産業界、地域の皆様方に、本基金への格別のご理解とご支援を末永く賜りたく、お願いを申し上げます。

福岡教育大学は、明治6年に「学科取調所」として設置され、令和5年に創基150周年を迎えます。創基150周年を節目とし、教育研究の更なる発展や充実を図って参りたいと考えておりますので、更なる基金へのご協力をお願い申し上げます。

公式ホームページ

福岡教育大学基金

検索

インターネット(クレジットカード払い)による寄附金の受付を開始いたしました。

お問い合わせ先

福岡教育大学財務企画課

TEL:0940-35-1218

FAX:0940-35-1701

E-mail:kaihosa@fukuoka-edu.ac.jp

# Campus Letter

キャンパスからの便り

## 後援会

### 令和4年度第2回評議員会を開催しました

令和元年度から中止になっていた評議員会を、去る3月11日(土)に開催しました。会では、数年ぶりに後援会活動・学生支援等について評議員と役員が意見を交わすことができました。

後援会活動に関して、ご意見ご要望などがありましたら、下記事務局までご連絡ください。

福岡教育大学後援会 事務局  
TEL・FAX:0940-33-8070  
E-Mail:kouenkai@eos.ocn.ne.jp

## 経営政策課

### 学生が制作した「ねぶた」が宗像ユリックスに設置されました

本学の卒業生が制作した落花生形のねぶた「ピーナツ2」が宗像ユリックスのハーモニー前ホワイエに設置されました。

「ピーナツ2」は本学を令和5年3月に卒業した学生が卒業研究の一環で制作した作品です。



ピーナツ2

## 同窓会城山会

### みんなの力で元気な城山会に！ 第48回定期総会開催

同窓会城山会は、4月29日(土)に福岡県内各支会及び佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県の各県支部の代表総勢124名が参集し、第48回定期総会を八仙閣本店で開催しました。「同窓の絆で、助け合い・支え合って、大きく前進」の言葉をもとに本年度の重点課題・事業計画を決定しました。また、学長 飯田慎司様はじめ9名の大学役員の方々を来賓としてお迎えして、懇親会で交誼を深めました。今、多数の卒業生が仲間として、学校現場に採用されています。私たち城山会は、卒業生、そして、在学生をしっかり支え応援します。



福岡教育大学同窓会 城山会事務局  
TEL・FAX:0940-33-2211  
E-Mail:jouyamakai@able.ocn.ne.jp

## 健康科学センター

### MESSAGE No.124 2023 春号

今回の内容は、「怖い虫に刺されたら」「自分をアップデートしていますか?」「イメージの力」「書き出してみませんか?」「バランスのよい食事」「体を動かす習慣をつけましょう」など盛りだくさんです。

表紙は、辰田 楓さん(初等)のデザインです。是非手にとってご覧ください。



健康科学センターHP



国語以外は苦手な子が小説家になるかもしれない。  
ノートにらくがきしてばかりの子が画家になるかもしれない。  
チョウやバッタにしか興味のない子が100年後の絶滅種を減らすかもしれない。  
ケガの多いやんちゃな子が多くの命を救う医者になるかもしれない。  
インターネットばかりしている子が平和を創るプログラムを発明するかもしれない。

その可能性を広げる。

教師は、  
世界を変える仕事だ。

あすの教育に、夢を。



国立大学法人  
福岡教育大学  
University of Teacher Education Fukuoka

[www.fukuoka-edu.ac.jp](http://www.fukuoka-edu.ac.jp)

Joyama 通信 vol. **54**

福岡教育大学広報誌第54号 2023年7月14日  
編集発行: 国立大学法人 福岡教育大学 経営政策課

〒811-4192 宗像市赤間文教町1-1  
TEL.0940-35-1205 FAX.0940-35-1259  
e-mail: [kouhou@fukuoka-edu.ac.jp](mailto:kouhou@fukuoka-edu.ac.jp)  
ホームページ: <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>



福岡教育大学  
イメージキャラクター  
フッキー



大学HP



Twitter



YouTube

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。